

子育て・福祉ネットワーク通信-14

2007年12月発行/NPO全国子育て・福祉支援ふれあいネットワーク

〒350-1307 埼玉県狭山市祇園3-20ビル祇園2F TEL/FAX04(2956)4477



人形劇「大きなかぶ」のはじまり、はじまりー

第10回親子体験教室

NPO全国子育て・福祉支援ふれあいネットワーク主催の「第10回親子体験教室&もちつきとクリスマス会」が、12月2日（日）に日高市にある日本標準ふれあいホールで行われました。参加者数は43家族・124人でした。

体験教室では、家族でクリスマスかざりづくり、紙粘土で来年の干支（えと）のねずみづくりに挑戦。つづいてもちつきを体験。午後は、人形劇を見たり、外国人との交流など、楽しいひと時を過ごしました。

昼食時には、全員にお雑煮が振舞われました。

もちつき、干支（えと）・クリスマスかざりづくり



英語で自己紹介（「外国人と遊ぼう」）

①クリスマスかざりを作ろう

クラフト紙やビニールテープなどを使って、クリスマスかざりの制作に挑戦。



輪をじょうずに作りましょう。



親子で仲良く作りました。



「ほら、できたよ」

②紙粘土で来年の干支(えと)を作ろう

ウルトラ21アート研究所の指導のもと、紙粘土で来年の干支・ねずみを作りました。



クリスティンさんも飛び入り参加



かわいいねずみの完成。



まず、粘土をよくこねて丸くするところから。

人形劇を見よう



すっかりおなじみになった人形劇団・どんぐり（日高市）が、「大きなかぶ」を上演しました。子どもたちもいっしょに歌をうたったり、歓声をあげたり、大喜びでした。

外国人と遊ぼう

日高市内の中学校で英語を教えている、カズさん（イギリス人・男性）とクリスティンさん（カナダ人・女性）の二人がボランティアで参加しました。

クリスマスカードを作ったり、ダンスを踊ったりして、楽しく交流しました。



☆ご指導・ご協力をいただいた方がた

ウルトラ21アート研究所（紙粘土で干支づくり）、劇団どんぐり（人形劇）、斉藤裕美さん（クリスマスかざりづくり、外国人と遊ぼう）、イギリス人・カズさん、カナダ人・クリスティンさん（外国人と遊ぼう）、はつらつ学習クラブ指導員のみなさん、知的障害者施設・はつらつ作業所、（株）日本標準
ありがとうございました。

もちつきを体験して、お雑煮を食べました



親子体験教室の楽しみのひとつはもちつき体験。子どもたちは、順番にもちをつきました。
つきたてのおもちは、はつらつ作業所のみなさんの手で、あんころもちや辛味もちなどにして、販売されました。

はじめてきねをかついで「えい！」



さあ、お雑煮を食べましょう。



つきたてのおもちをあんこでくるんで…



「おいしいなあ」、雑煮に舌つづみ